

令和元年度(10月~12月) 日程表 Schedule

| 2019 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 10 | 普通展示(浮世絵) 紅摺絵(〜10/14) | | | | | | | | | | | | | | | | | 普通展示(浮世絵) 歌川派の役者絵(10/18~11/17) | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(東洋陶磁) 面取りのかたち(〜10/14) | | | | | | | | | | | | | | | | | 普通展示(東洋陶磁) 中国やきもの入門(華北編)(10/18~2/2) | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(陶芸) 恒久破壊 十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(工芸) 山口県と伝統工芸2 陶磁・硯・金工(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 特選鑑賞室 鈴木春信 坐鋪八景 鏡台の秋月(10/1~10/31) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 茶室 桑田卓郎 Dear Tea Bowl, Horsetails are in season in Hagi. (〜2020/3/15) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特別展示 にゃんとも猫だらけ(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ★ ★ ●GT | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11 | 普通展示(浮世絵) 歌川派の役者絵(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | 普通展示(浮世絵) 忠臣蔵(11/23~12/22) | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(東洋陶磁) 中国やきもの入門(華北編)(〜2/2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(陶芸) 恒久破壊 十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(工芸) 山口県と伝統工芸2 陶磁・硯・金工(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 特選鑑賞室 東洲斎写楽 三世瀬川菊之丞の田辺文蔵妻おしづ(11/1~11/30) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 茶室 桑田卓郎 Dear Tea Bowl, Horsetails are in season in Hagi. (〜2020/3/15) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特別展示 にゃんとも猫だらけ(〜11/17) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ●GT | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 11/1~11/7 普通展示観覧料無料(教育・文化週間) ●GT | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 | 普通展示(浮世絵) 忠臣蔵(〜12/22) | | | | | | | | | | | | | | | | | 普通展示(浮世絵) 月百姿 Part I(12/24~2/2) | | | | | | | | | | | | | |
| | 普通展示(東洋陶磁) 中国やきもの入門(華北編)(〜2/2) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 特別展示 現在形の陶芸 萩大賞展V(〜1/13) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 特選鑑賞室 溪斎英泉 美艶仙女香 はつ雪や(12/1~12/27) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 茶室 桑田卓郎 Dear Tea Bowl, Horsetails are in season in Hagi. (〜2020/3/15) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ★ ★ ★ ●GT | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

● 休館日 ★ イベント ■ 記念講演会 ● ガラリー・ツアー ■ ガラリー・トーク

- ★ イベント
- 「にゃんとも猫だらけ」関連イベント
 - 秋のミュージアム・コンサート(参加無料)
 - 出演 ● 木原朋子(箏)
 - 日時 ● 10月6日[日] 15:00~16:00
 - 会場 ● エントランスロビー
 - 藤井美佳ピアノの夕べ
 - 日時 ● 10月12日[土] 18:00~19:00
 - 料金 ● 1,000円(高校生以下無料、17:00~18:00の間、コンサートチケットをお持ちの方は無料で観覧いただけます)
 - 会場 ● エントランスロビー
 - ちびっこ学芸員になってみよう【親子見学会&お仕事体験】(参加無料・事前申込)
 - 日時 ● 10月22日[火・祝] 14:00~16:00
 - 定員 ● 10名(小学生以上対象、要保護者同伴)
 - 会場 ● エントランスロビーほか
 - 鑑賞バスツアー
 - 山口市内発着/萩市内の観光、ランチ、フリータイム等含む
 - 参加費(昼食代含む、観覧料別途) ● 一般 2,500円、メンバーズ 2,000円
 - 実施日 ● 10月5日[土]
 - 定員 ● 40名(最少催行人員5名)
 - (旅行企画・実施) 防長交通株式会社 山口県萩市大字平安古町553-1
TEL 0838-22-3811 FAX 0838-25-1258
国内登録旅行業第2-41号 国内旅行業務取扱管理者: 藤崎友行(担当: 守永)
 - 「月夜のナイトミュージアム」
 - 実施日 ● 10月11日[金]~13日[日]
 - 内容 ● 萩・竹灯路物語の実施にあわせて、特別展示「平木コレクション にゃんとも猫だらけ」展の開館延長(13日 ~19:00)と作品解説、美術館内外のライトアップ(13日)、ワークショップ「提灯を持って城下町を歩こう」(13日)、ワークショップ「折り紙でつくるちょうちん飾り」(11~13日)などのイベントを実施。

- 「開館記念日」
 - 実施日 ● 10月14日[月・祝]
 - 内容 ● 当日展覧会をご覧いただく先着200名様に特別展示「平木コレクション にゃんとも猫だらけ」招待券と美術館オリジナルグッズをプレゼント
 - 「萩美祭2019」
 - 実施日 ● 11月24日[日]~2020年1月12日[日]
 - 内容 ● 地域に関連する芸術によって交流促進することを目的としたアートイベントを開催
 - ※詳細はP.4
 - 記念講演会(聴講無料/当日受付先着順)
 - 日時 ● 10月14日[月・祝] 13:30~15:00
 - 演題 ● 遊んで! 学べる! 江戸の浮世絵
 - 講師 ● 松村真佐子氏(公益財団法人 平木浮世絵財団 学芸員)
 - 会場 ● 講座室(座席数84席)
 - ガラリー・ツアー(担当学芸員による特別展示作品解説)
 - 「平木コレクション にゃんとも猫だらけ」
 - 日時 ● 会期中の日曜日 11:00~12:00
 - ガラリー・トーク(担当学芸員による普通展示作品解説)
 - いずれも11:00~(30分程度)
 - 10月12日[土] 山口県と伝統工芸2 陶磁・硯・金工
 - 10月26日[土] 歌川派の役者絵
 - 11月9日[土] 中国やきもの入門(華北編)
 - 12月14日[土] 忠臣蔵
- ※イベント詳細については美術館ホームページをご覧ください。
※ガラリー・ツアー、ガラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。

- 交通アクセス
- 【新山口駅から】
 - 直行バス「スーパードラゴン」(約60分)で萩・明倫センター下車、徒歩約5分
 - 防長バス(約90分)で萩バスセンター下車、徒歩約12分
 - 【山口宇部空港から】萩・石見空港から
 - 萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70~80分(利用前日までに要予約)
 - 【JR山陰本線】
 - JR萩駅から萩循環まあるバス(西回り)約30分
 - JR東萩駅から萩循環まあるバス(東回り)約30分
 - JR玉江駅から徒歩約20分
 - 【自動車】
 - 「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
 - 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



山口県立萩美術館・浦上記念館 HAGI URAGAMI MUSEUM 〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401 URL https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/ 季刊「萩」令和元年10月15日通巻第93号 発行/山口県立萩美術館・浦上記念館 山口県萩市平安古町586-1

H A G I 萩

AUTUMN 2019 93

題字は吉田松陰筆跡



広重の猫から —にゃんとも猫だらけ展の開催に寄せて—

佐藤 光信

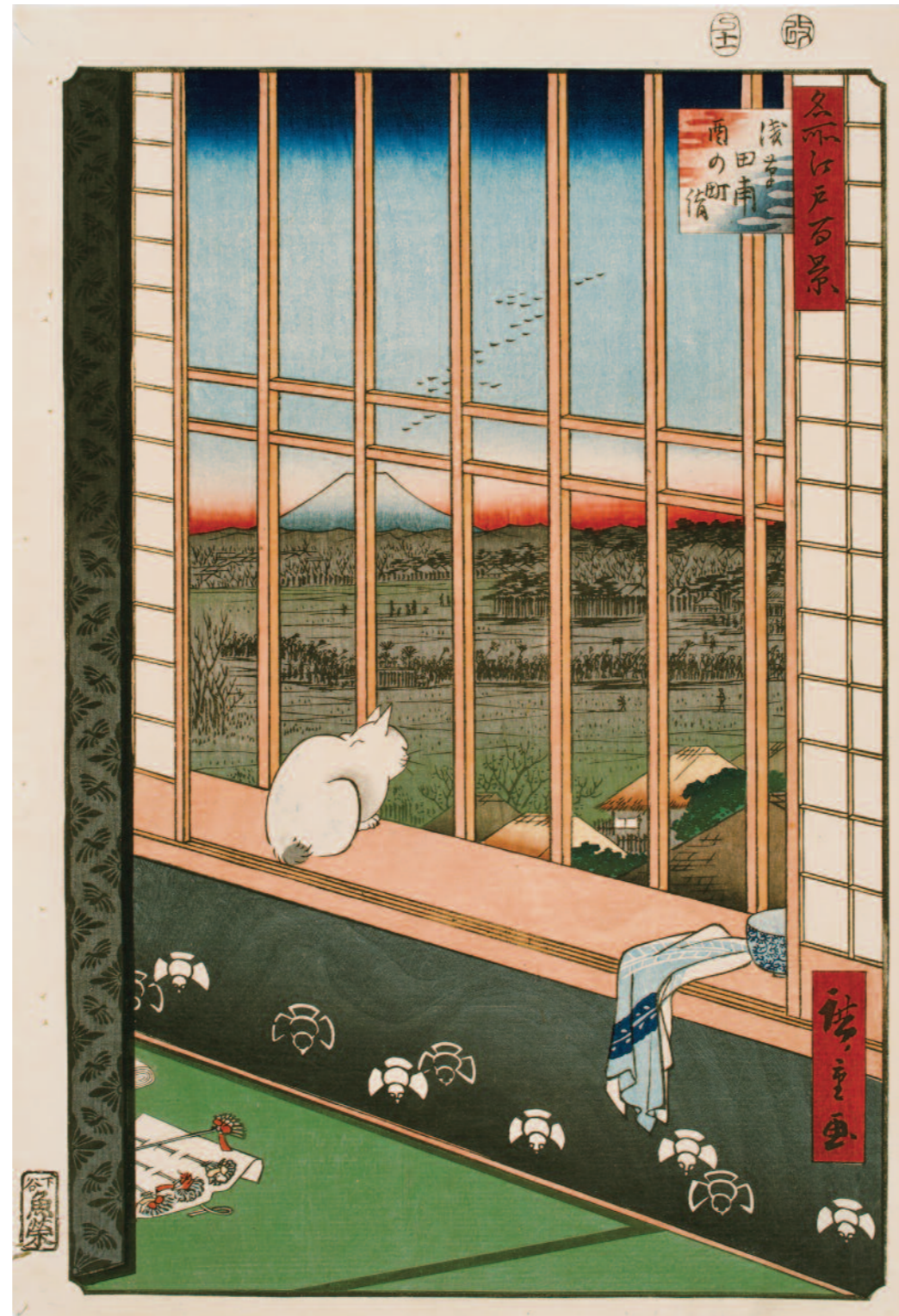
歌川広重の「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」が、猫展の企画の始まりだったと言っても過言ではない。

「浅草田圃西の町詣」は、広重晩年の大作「名所江戸百景」のシリーズの作品であるので、風景画の範疇に入れられる。しかし、その絵をよく読んでみると、猫が関わる物語が見えてきた。

舞台は吉原の妓楼の二階。雁の群れが富士山の峰に向かって飛ぶ夕暮れ時である。窓からは西に広がる吉原田圃を望み、畦道には鶯神社の西の市に向かう人、熊手を担いで帰る人の長い行列がシルエットになって見える。広重は11月に行われる西の市の風景を描いているのだが、その景色を眺める室内にこの絵の主題を置いているようだ。

左端に立てられたのは屏風で、鳥襷の模様からして屏風の裏側を見せている。屏風の正面はその向こう側であり、人は屏風の内にいる。屏風の傍らには、豆熊手が置いてあり、この部屋の遊女の客は、西の市の帰りに寄ったことが暗示されている。何本もの豆熊手はこの遊女一人への土産だろうか。窓辺にはこの部屋の主の遊女が飼う猫が外を見る躰であるが、耳を^{そぼだ}くちやしているのは、屏風の向こうに遊女の馴染が来ているからだだろう。口ひげもピンとはねて不機嫌になっているように見えるのは、相手にしてもらえないことに原因がある。豆熊手の飾りには意味ありげな松茸とお多福、窓下の壁には雌雄の福良雀が描かれている。生真面目な広重には珍しい、艶っぽい作品となっていると、猫の表情からこのように解釈してみたが、いかがだろうか。

ところで、広重の猫の扱いと共通すると思われる作品がある。ヨーロッパ印象派の先駆者として知られる、エドワール・マネが描いた「オランピア」（1863年作、オルセー美術館蔵）である。裸の女性が大きなクッションに上半身を預けてベッドに横たわり、正面を見据えている。黒人のメイドが花束を持って、ベッドの足元では黒猫が尻尾を立てている。猫が威嚇しているのは画中に描かれていない花束の贈り主であり、オランピアが顔を向けて見つめる相手であろう。



歌川広重《名所江戸百景 浅草田圃西の町詣》大判錦絵、安政4年(1857)、公益財団法人 平木浮世絵財団蔵

マネは「オランピア」を描くにあたり、ティツィアーノの「ウルビーノのビーナス」の構図を借用しており、ビーナスの足元に眠りこける犬に対し、サロン出展の直前に猫を描き加えたという。暗い背景にまぎれ、猫が見えにくいのはそのためであった。浮世絵の影響を受けたマネであるが、「オランピア」の猫が「浅草田圃西の町詣」に触発されたということはないだろう。しかしながら、東西の芸術家が作品で猫に与えた役どころに共通点が見られることは興味深いと思われる。

ということで、改めて猫に注目して浮世絵探索をしてみると、実に沢山の作品に猫が登場することが分かった。

美人画では、着物の裾にじゃれつく猫、やさしく抱きしめられた猫など、しばしば飼い猫が登場している。猫という小さな生き物に向けられた豊かな愛情からは、女性の優しさ、可愛らしさを感じることが出来るので、猫は女性の魅力を引き立てる重要な役割をもたされていたのだろう。しかし、猫のくるくる変わる瞳や人の言葉を理解するような素振りから、人々は猫に特別な能力を感じていたようで、猫は他の美術には見られないような不思議な力を発揮し、主役となって、浮世絵の中で縦横無尽に活躍するようになっていった。その作品の数々は美術館で、是非ご覧いただきたい。

堅苦しい美術鑑賞に囚われず、浮世絵を楽しもうという主旨で企画したのが、2006年と2012年に開催した「にゃんとも猫だらけ展 (Cats of Many Varieties)」であった。浮世絵の新しい魅力を提示したこの展覧会は、評判を呼び、日本国内に猫に関する美術展ブームを巻き起こしたのである。更には2015年、浮世絵の猫たちは招かれて海を渡り、ニューヨークにおいて展覧会が開催された。浮世絵の中でさまざまにパフォーマンスする猫たちの姿を、ニューヨークの美術愛好家、愛猫家は大いに楽しんでくれた。

今回の山口県立萩美術館・浦上記念館での展覧会は、作品数も増えてパワーアップした内容でご覧いただけることになった。館員の方々の熱い要望に応じて実現したものである。浦上敏朗名誉館長との長年の交友に引き続き、美術館の開館以来交流を深めてきたので、今回ご協力できたことを大変うれしく思っているところである。（公益財団法人平木浮世絵財団 理事長）

にゃんと猫だらけ

平木コレクション



歌川国芳《五十三次之内 岡崎の場 三折源之助の白須賀十右衛門 三代目尾上菊五郎の猫石の怪 十二代目市村羽左衛門のいなばの助》大判錦絵3枚続、天保6年(1835)

10月18日 [金] から、 後段、大騒動の段が始まります! (11月17日 [日] まで)



歌川芳藤《五十三次之内猫之怪》
大判錦絵 嘉永期(1848-54)

開館時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)
休館日 10月28日 [月]、11月11日 [月]
観覧料 一般 1,000(800)円、70歳以上・学生 800(600)円
にゃん券(ローソンチケット、セブンチケットでのお得な2回券) 1,500円

※()は前売りおよび20名以上の団体料金。
※18歳以下と高等学校・中等教育学校・特別支援学校の生徒は無料。
※身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者とその介護者1名は無料。
※にゃん券および前売券は、ローソンチケット(Lコード62959)、セブンチケットでお求めになれます。

主催 にゃんと猫だらけ実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、KRY山口放送)
後援 山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会
協力 公益財団法人 平木浮世絵財団

猫が集まって
大きな猫の顔になっているじゃ。
よく見ると、猫の目玉は
僕たちが首につけている
鈴でできていますよ!!

なんだか怖い、
でも見てみたい
気がする化け猫。
後段は、化け猫さんが
主役です。

ギャラリー・ツアー (学芸員の作品解説)

日時: 毎週日曜 11:00~12:00

関連情報 萩ツインシネマで猫映画を上映!

「初恋 お父さん、チビがいなくなりました」 10月12日 [土]~11月8日 [金]

ねこポイントラリー

展覧会関連イベントや館内のお楽しみイベントでポイントを3つ集めて記念品をもらおう! (予定数量にて終了)



歌川国利《新板猫の戯》大判錦絵 明治17年(1884)

現在形の陶芸 萩大賞展 V

2019年 11月23日 [土・祝] ~ 2020年 1月13日 [月・祝]

休館日 12月2日 [月]、12月9日 [月]、
12月16日 [月]、12月23日 [月]、1月6日 [月]
(年末年始の休館日: 2019年12月28日 [土]~
2020年1月1日 [水・祝])

会場 山口県立萩美術館・浦上記念館
陶芸館1階・2階展示室

開館時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)

観覧料 一般 300(240)円、学生 200(160)円

※メンバーズクラブ・キャンパスメンバーズの方、70歳以上・18歳以下の方は無料です。
※高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料です。
※()内は20名以上の団体料金。



萩大賞作品
黒駒壺
止原理美 山口県

第21回国民文化祭・やまぐち2006において、従来最多の応募作品が全国各地から寄せられた陶芸展の実施成果を継承して開催された、平成19、22、25、28年度の「現在形の陶芸 萩大賞展」の第5回展(3年ぶりの開催)です。

萩焼400年の歴史を有する本県の重要な文化資源である「陶芸」領域の一層の振興と質の向上を目的に、活動する陶芸家を対象とした作品の公募展です。このことによって、県民各層がこの領域に触れ親しみ、豊かな感性や創造性を育むよりよき学習機会を提供することを期します。

萩美祭 2019

萩美祭2019は地域に関連する芸術によって交流促進することを目的としたアートイベントです。今年も、全国藩校サミット萩大会と連携したイベントが盛りだくさんです。

申込・お問合せ ... TEL 0838-24-2400

イベントのご案内

- 1 名取裕子 三輪龍氣生 対談~私とやきものと萩~**
要申込 参加無料 全国藩校サミット萩大会との連携イベント
日時: 11月24日 [日] 14:00~
会場: 当館本館講座室(84席)
※往復ハガキにて、氏名・年齢・住所・電話番号をご記入の上、お申込みください。申込多数の場合は抽選となります。
- 2 陶と花のコラボレーション**
観覧無料 全国藩校サミット萩大会との連携イベント
会期: 11月26日 [火] ~ 12月3日 [火]
9:00~17:00 最終日は14:00まで
会場: 萩・明倫学舎 復元教室
- 3 茶菓子作りワークショップ&デモンストレーション**
全国藩校サミット萩大会との連携イベント
協力: 御菓子司 彩雲堂
◆茶菓子作りデモンストレーション 観覧無料
日時: 11月30日 [土] 11:00~1時間程度
会場: 萩・明倫学舎
◆茶菓子作りワークショップ 要申込
日時: 1回目 11月30日 [土] 14:00~16:00
2回目 12月1日 [日] 10:00~12:00
会場: 萩・明倫学舎 ほか
参加費: 1,000円 定員: 各回20名程度
- 4 呈茶席** 全国藩校サミット萩大会との連携イベント
日時: 11月30日 [土] 10:30~15:00
協力 裏千家淡交会青年部のみなさん
12月1日 [日] 10:30~15:00
協力 表千家萩地区青年部のみなさん
会場: 当館本館エントランスロビー
参加費: 300円(抹茶、菓子付き)

- 5 クリスマス・コンサート** 参加無料
協力: 山口県立萩高等学校合唱部のみなさん
日時: 12月22日 [日] 15:00~16:00
会場: 当館本館エントランスロビー
- 6 創作茶花ワークショップ** 要申込
講師: 金子凜草さん(草月流)
日時: 12月8日 [日] 1回目11:00~12:00 2回目14:00~15:00
会場: 萩・明倫学舎 展示映像室
参加費: 1,000円 定員: 各回10名
- 7 金継ワークショップ** 要申込
協力: 株式会社佐藤喜代松商店
講師: 佐藤貴彦さん(株式会社佐藤喜代松商店 代表取締役)
日時: 1回目 12月21日 [土] 13:00~16:00
2回目 12月22日 [日] 9:00~12:00
会場: 当館陶芸館多目的室
参加費: 4,000円 定員: 各回8名
- 8 萩の器と食①** 要申込
協力・会場: 見蘭牛ダイニング 玄
日時: 11月26日 [火] 11:00~
参加費: 3,300円(ドリンク代別) 定員: 30名程度
- 9 萩の器と食②** 要申込
協力・会場: フラッセリーラボ
日時: 2020年1月9日 [木] 19:00~
参加費: 10,000円 定員: 10名程度
- 10 高校生茶会**
協力: 山口県立萩高等学校茶道部のみなさん
日時: 2020年1月11日 [土]、12日 [日] 10:30~15:00の間に6席
会場: 当館エントランスロビー
参加費: 500円(抹茶、菓子付き)

各イベントの詳細については、当館ホームページをご覧ください。

歌川派の役者絵

普通展示(浮世絵)

令和元年(2019)10月18日(金)～11月17日(日)

歌川豊春を祖とする歌川派は、幕末から明治期まで多くの人気絵師を輩出した最大流派です。

特に豊春の弟子である豊国は、役者絵で定評のあった勝川派とは異なる作風で注目を集め、東洲斎写楽と人気を競った後には独占的な活躍をみせました。

弟子の国政、国貞(三代豊国)とその弟子の国周は、豊国が確立した役者似顔絵を発展させ、国芳やその門弟も個性的な役者絵をてがけています。



歌川豊国 「初代松本米三郎」 大判錦絵 寛政11年(1799)頃

中国やきもの入門 (華北編)

普通展示(東洋陶磁)

令和元年(2019)10月18日(金)～令和2年(2020)2月2日(日)

やきもの歴史が古い中国では、遅くとも8000から10000年前には原初的なやきものである土器が作られていました。また、広大な中国は、淮河を境にして大きく華北(中国北部)と華南(中国南部)に区別され、作られるやきものもそれぞれに独自性が見られました。

本展示では、華北で作られたやきものに焦点を当て、新石器時代から明時代までの彩陶・黒陶・三彩陶・磁州窯陶器などを紹介します。本展示を通じて、華北のやきものに親しんでいただければ幸いです。



白地鉄絵花文壺 元時代

忠臣蔵

普通展示(浮世絵)

令和元年(2019)11月23日(土)～12月22日(日)

元禄15年(1703)12月14日未明、亡君浅野内匠頭長矩の怨みを晴らすため、赤穂浪士が吉良邸に討ち入り、吉良上野介義央の首を挙げました。この赤穂事件は、文学や演劇に取り上げられ、寛延元年(1748)に竹本座で初演された浄瑠璃『仮名手本忠臣蔵』(通称 忠臣蔵)は類をみない大当たりとなりました。浮世絵では、忠臣蔵の各場面を描いたシリーズの他、役者絵や武者絵、見立絵などが描かれました。



葛飾北斎 「仮名手本忠臣蔵 五段目」 横大判錦絵 文化3年(1806)

山口県と伝統工芸 2 - 陶磁・硯・金工 -

普通展示(工芸)

令和元年(2019)9月14日(土)～11月17日(日)

実用に供するものが巧みに作られ、使い心地の良いものであったら。その期待に沿っているのが工芸です。受け継がれるなかで洗練されてきたわざを活かして、美的にも機能的にも優れているものが日本の各地で作られています。

本展示では、山口県にゆかりのある萩焼・赤間硯・金工の魅力を紹介いたします。



大和保男 鉄線文茶碗 2006年

月百姿 Part I

普通展示(浮世絵)

令和元年(2019)12月24日(火)～令和2年(2020)2月2日(日)

月岡芳年は明治時代に活躍した最も知られる浮世絵師の一人です。とくに幕末から明治にかけての政情不安を意識させる残酷絵や西洋の合理的精神に基づいた写実的な歴史画や稗史絵の作品は芳年が築いた独特の世界といえます。

「月百姿」は晩年の代表作の一つで、明治18年(1885)から同25年(1892)にかけて版行された百枚の大作です。日本や中国の物語、謡曲、稗史、逸話などから題材を得て、月のさまざまな姿を表現しています。



月岡芳年 「月百姿 朝野川晴雪月 孝女ちか子」 大判錦絵、明治18年(1885)

桑田卓郎

茶室

Dear Tea Bowl, Horsetails are in season in Hagi.

令和元年(2019)4月2日[火]～令和2年(2020)3月15日[日]



撮影：武田陽介